

## 平成 28 年度 食育推進に係る実践報告書

学校名	安芸太田町立 筒賀小学校		
学校長氏名	津田 泰成	栄養教諭氏名	亀川 吉美
職員数	10 名	児童・生徒数	32 名

### 1 学校における食育の現状(昨年度からの課題等)

- ・苦手な物も食べようとする姿が見られ, 残菜はほとんどない。
- ・食事のマナーを意識しているが, 食べ方等も含め個々に課題がある。(生活習慣全般)
- ・毎日の給食や献立紹介を通して, 児童の食に対する興味・関心は高まっている。さらに給食を“生きた教材”として授業や掲示などにつなげていく取組が十分できていない。
- ・小規模校のよさを生かし, 様々な場面で調理実習を行っている。料理を楽しんで意欲的に活動しているが, 教科に即した明確な目標設定ができておらず, “確かな力”につながったかどうか検証できていない。

### 2 学校の食育に関わる目標(成果指標・目標値)

☆発達段階に応じた食事のマナーに関する指導を徹底する。

(よい姿勢で食べる。時間内に食べる。)

★児童アンケート「給食時間は, 食事のマナーを守って食べています」の自己評価で, 「よくあてはまる」と答えた児童の割合 [ 中間(10月) : 55% 最終(2月) : 60% ]

### 3 食育の目標に対する具体的な取組

#### 【取組 1】(テーマ) 食事のマナーを守って食べる 学級活動[給食指導]

○児童・職員全員がランチルームで給食を食べる。

1 学期は校舎の改修工事のため各教室で給食を食べており, 1 年生は担任に量を調節してもらってもなかなか給食時間内に食べ終えることができなかった。2 年生から上の学年もリラックスしすぎてか食べる姿勢が悪かったり, ダラダラ食べるたりする姿が見られた。

2 学期になりランチルームでの全校給食に戻ると, 他の学年を意識し, 適度な緊張感をもって食べるようになった。児童自らが教室での態度と比較したり, 食べ終わる時間, 姿勢, マナー等を意識したりすることでずいぶん改善された。また, テーブルの配置を変えたことにより, 上学年が自然と下学年の良いモデルとなったり声を掛け合ったりする姿が見られるようになった。

○給食当番, 食事中, 合掌後の児童の対応について職員で意識統一する。

2 学期の給食時間をふり返る中で, 給食当番への声かけ, 食べる量の調節, 合掌後も食べている児童への対応等が職員でまちまちであることに気づいた。そこで3 学期からの給食指導について共通認識を持って指導にあたり, 定着を促していけるよう確認を行った。

全校での給食の様子



職員が意識して給食指導を行ったこともあるが、児童自身が心も体も成長し、合掌後10分以内には全員が食べ終わられるようになった。(合掌までの時間：20分)

### 【取組2】(テーマ) 好き嫌いについて考えよう！ / 学級活動[給食指導]

1年生はこれまでの食経験に個人差が大きく、魚・野菜は家庭ではほとんど食べていなかったり果物や甘いデザートが苦手だったりして、今までの児童とは少し異なった嗜好をしていた。食べる前から「〇〇が嫌い!」「〇〇食べられん!」という声が飛び交い、他の子もあえて自分の苦手なものをさがしたりして“楽しく食べる”という雰囲気になりにくかった。また、入学当初は食べこむことができず、食の細い児童もいた。担任や一緒に食べる職員が、量を調節したり、苦手な食べ物は1口ずつ増やしていき、「苦手な物は一口でも食べる」「注いである量は食べきる」ことを徹底して指導した。

約1年が経過する2月末「小学生になって食べられるようになった物がありますか?」という質問に、苦手な食べ物がある児童は全員1つ以上食べられるようになった物があり、さらに好きになった食べ物もあった。食べず嫌いだったり、“おいしい”と意識して食べることがなかったりということもあるが、確実に一人一人の食の世界が広がりつつあると実感している。



#### ＊＊1年生授業の様子と児童のワークシートより＊＊

★しょうがくせいになって たべられるようになったたべものは なにですか?  
たべられるようになったのは どうしてだとおもいますか?

ヒーマンがちょっと好きになりました。  
ほかのといっしょにたべたらあまいあ  
がするから好きになった。

### 【取組3】(テーマ) 食事のマナーチェック / 児童会活動[委員会活動]

3学期になって、確実に時間内に食べることができた児童が増え、2月にとった児童アンケートの達成率も高かった。しかし、個々に見ると課題があるため、個別に目標を設定させ、委員会活動で決まった期間、意識して取り組ませることで、マナーの向上を図ることにした。月～木曜日までは保健委員会の児童がマナー目標を設定し、その目標にした理由を説明し、金曜日は自分の姿を振り返り目標を設定した。「時間内に食べきる」という目標の日は、「集団で生活する時は、決められた時間内に食べることがマナーとして必要だからです。」と説明し、児童は食べ始めから意識して無言で食べていた。特にマナーに大きく課題のない6年生の女子児童は、「三角食べをする」を個別の目標に設定していた。卒業を前にして、きちんと美しく食べきりたいという思いを感じた。

日	月	火	水	木	金
目標	しぜいを正しくして食べる。	はしを正しく持ちお茶碗を持つ。	時間内に食べきる。	くぼいたらきちんと拾う。	
目標					
チェック					

★できた日にはチェックらんにシールをはりましょう。

保健委員会で作成したチェック表

#### 4 「ひろしま給食100万食プロジェクト」の取組について

栄養士2名で統一メニューを中心とした、安芸太田町の食材をふんだんに使用した献立を作成し、夏の調理員研修会で試作した。その料理を児童育成課(保育所管轄)を含めた町の関係部署の方々と一緒に試食し、検討を行った。その献立を10月19日に実施し、食材調達に関わっていただいた太田川産直市の方(JA職員)に児童と一緒に食べていただいた。

##### 【10月19日の献立】

タコタコライス  
ひろしまんぷく!シャキシャキサラダ  
安芸太田町ビーフンスープ  
広島フルーツぶるるんゼリー



食べるの速い  
ですね。

おいし〜いから  
たくさん速く食  
べられるんよ。

#### 5 取組に対する成果と課題

【成果】 ※取組の中に表記

##### 【課題及び改善策】

- ・今年度は、調理場を含む小学校改修工事の中で、配送・配膳・食事をしていたので、明確な“給食のスタイル”が打ち出せず、その都度改善しながら対応していた。そのため、児童への指導が学級ごとで異なり、徹底することができなかった。  
⇒来年度は年度当初全職員で確認する。
- ・学校で行っている取組を保護者や地域の方にお知らせし、協力を得るまでに至っていない。  
⇒現在は食育通信を共同調理場として配送校4校に配付しているが、校内の食育について記載した校内用の物と給食の様子を中心とした配送校用の物を分けて作成する。

#### 6 今後の取組の方策について

生活実態調査から、生活習慣がきちんと身につけていない児童もみられた。食事のマナーを定着させるためには、食事の時間を含めた1日の生活のリズムが整えられるよう、家庭と協力しながら改善に向けた取組を行いたい。また、児童自身が個々の課題に気づいているのでその課題を1つずつ克服するためのきめ細やかな取組を展開していきたい。

7年間学校の食育の目標を「食事のマナー」に関することにしている。マナーが定着するためには継続的な取組が必要で、意識から習慣になるまで見とどけ、本人の社会性が芽生えた時に確実なものとなるを考える。来年度からは生活習慣全般を意識しながらマナーについて取り組んでいくこととし、食育について次のステップの目標を検討していこうと考えている。